



(A)小林は、今後の先端的外科手術技術にマイクロサージャリーの技術がどのように貢献していくかを講演しました。
(B)講演内容は、教育を通じて国際協力することを呼びかけましたが、中国メディアも注目していました。
(C)中国企業の協賛も活発で、学会では最も協力があつた企業活動に感謝するアワードが計画されました。
(D)本学会は、天津医科大学が全面的に支援して行われましたが、第14代会長としてIonac教授(ルーマニア)が承認されました。